第２８０号　ＪＲ東労組大宮地本　２０２３年４月２１日（4）

JR東労組
大　宮
2024年4月21日　第280号
〒330-0853　埼玉県さいたま市大宮区錦町630
電　話　048-643-6655　ＦＡＸ 048-631-1441
ＪＲＴＥＬ 054-5844･5　ＪＲＦＡＸ 054-5846
email：omiya-chihon@ireu-omiya.jp
発行人　川澄 新一　　編集人　小宮 裕幸

ＪＲ東労組大宮地本のホームページは←こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

新入社員のみなさん　入社おめでとうございます！！

私たちは一番多くの人が加入している労働組合、JR 東労組（東日本旅客鉄道労働組合）です!!

新入社員のみなさん！入社おめでとうございます！

新入社員のみなさん、入社おめでとうございます。私たちは32歳以下の組合員で構成する「青年部」です。若い世代が集まった青年部だからこそ話し合える職場の問題や悩み等を、定期委員会や各職場で展開する対話等で議論し、レク活動を通じて系統を超えた連帯をつくっています。明るく楽しい職場を共につくり出しましょう。

e-mail ～大宮地本青年部～

同じ趣味の仲間が集まり、サークル活動を行っています！

陸上部・野球部・ソフトボール部・山岳部・硬式テニス部・ソフトテニス部・バレーボール部・バスケットボール部・スキー部・ボウリング部・ゴルフ部・サッカー部・釣り部・軽音楽部・ネイチャークラブ・将棋部・絵画部・バドミントン部・卓球部・レールクラブ

2023年5月　大宮地本ヘラブナ釣り大会

2023年12月　大宮地本ボウリング大会

2023年5月　大宮地本バスケットボール大会

JR 東労組は会社と団体交渉を行い、労働条件の改善を実現してきました!!（一部抜粋）

私たちJR東労組は会社発足以降、労働条件や職場環境等について会社と話し合い、多くの改善を行ってきました。

労働組合の活動目的は、組合員と家族の雇用と利益を守り、会社の発展と安全で働きやすい職場環境・労働条件を実現していく事です。これらを実現させるための基礎となるのは、職場で働く一人ひとりの組合員の声です。

多くの声を集め、今後もより良い職場と会社を築き上げていくためには、みなさんの力が必要です！

ＪＲ東労組への加入を心よりお待ちしています！

初任給を増額しました！

1987年≪会社発足時≫	2023年
103,600 円（高卒）	⇒165,100 円【61,500 円増額】（高卒エリア職）
135,900 円（大学卒）	⇒191,200 円【55,300 円増額】（大学卒エリア職）

年間休日数を増やしました！

1987年≪会社発足時≫	2023年
95日	⇒115日(平均)【20日増加】

入社1年目の年次有給休暇数を増やしました！

1987年≪会社発足時≫	2023年
入社3か月後に6日	⇒入社時から15日【9日増加】

そのほかにも多くの改善を実現しています！

所定労働時間の短縮、職務乗車証の支給、表彰制度の充実、始終業時間前後の更衣時間（5分）を労働時間にすること、育児休暇制度の新設・改善　等・・・・

私たちの声から実現しました！

２０２４ＪＲ総連春闘

組合員・未加入者の声で推し進める！

JR 東日本　3月22日 妥結
- ◆基本給に、所定昇給額と同一の額＋4,000 円を加算
- ◆昇給係数4での定期昇給を実施
  （4月1日現在　満55歳未満の社員）
- ◆エルダー社員　基本賃金に 6,000 円を加算
- ◆テンポラリースタッフ
  1時間当たりの賃金額に70円を加算
- ◆夏季手当は基準内賃金の2．7ヶ月
- ◆定期昇給カット分の別途支給・第二基本給の凍結・65歳定年延長について⇒現段階で実施の考えはない

JR 東日本ステーションサービス　3月22日 妥結
- ◆社員の基本給に対し一律 5,000 円を加算

JR バス関東　3月29日 妥結
- ◆ベア一律 2,000 円
- ◆定期昇給4分の4実施

始点論

4月1日、JR東日本は民営化から38年目の春を迎え、国鉄採用世代の大半の方々は定年を迎え、JR採用世代が組織を担う新たな年度がスタートした。深澤氏から喜勢氏へと社長も交代し、社内の大胆な変化も予想される。地本管内では大宮統括センター・宇都宮統括センター・小山運輸区が発足している。

ダイヤ改正、組織再編、労働者代表者選挙等、諸課題が山積する中、私たちは全職場から春闘を展開してきた。「JR総連の旗の下、低額相場と労働者間の分断・競争・格差拡大を許さず、統一要求・統一闘争での一律賃上げ」を掲げ、12月から意思統一を行い、対話行動、職場集会を積み重ね、本部檄励やメッセージ行動なども独創的に展開してきた。また、今春闘では会社提案を受け、賃金引上げと夏季手当交渉を、6点の確認事項を一致させた上で同時に行ってきた。

3月5日の大宮地本春闘総決起集会に420名の仲間が結集した根拠は、営業利益が大きく増加している事実と利用者の増加、世間相場を考慮した上で何としても満額獲得を勝ちとる労働者の決意の結集である。だからこそ、大手企業が軒並み満額回答やそれ以上の回答を示す中、集中回答日を大きく前倒しした中での会社回答が「定期昇給（昇給係数4）の実施・所定昇給額と同一の額及び4，000円を加える基本給改定の実施・夏季手当は基準内賃金の2．7ケ月）であることに、多くの仲間は納得感を感じることはなく、怒りを通り越して呆れるばかりだった。本部の緊急アンケートでもベアの格差と要求とかけ離れた回答、回答書での誤魔化しに対する不満の声が9割を越えた。

緊急申し入れのたたかいは正に、職場の怒りが本部交渉団と一体となりたたかい抜いたと言える。会社が「職場の声を受け止める」としながらも「再考はしない、最終回答である」と繰り返し、ベアの格差については「合理的な格差である」と主張する回答に対し、東労組は「おかしいことにはおかしい」と主張していく。社員間の競争を過度に煽る格差賃金と安全の基礎となるチームワークの破壊が危惧される人事・賃金制度の改悪には断固反対し、安心して働ける職場場風土を全組合員で創り出そう！

24春闘をたたかい抜いた団結力で更なる組織強化・拡大を目指し、安心して働ける職場と戦争のない平和な社会を創りだそう！

春のたたかいでは6名の組織拡大を実現し、労働者代表選では6つの機関で勝利を勝ちとってきた。更に、他地本の仲間と連帯し埼京運輸区や武蔵野運輸区で新たな分会組織を確立した。教訓点は、職場運動を通じて何を目指すのかを明確にし、実践を積み上げてきたことだ。その過程は決して順調ではなかったが、仲間同志で支え合い、茨の道を切り拓いてきた。今後各機関でたたかいを共有化し、次なる展望を見出そう！

一方、国政に目を向けると、平和を危ぶむ足音が大きさを増している。岸田首相は総裁任期中で改憲を行う決意を明言し、法整備を進めている。振り返れば、安部政権下で集団的自衛権の一部行使が容認され、岸田政権下では敵基地攻撃能力の保有が明記されている。今国会の衆議院憲法審査会では緊急事項条項の条文案の起草委員会の創設が提案され、実質的議論が始まり、4月の日米首脳会談では、自衛隊と在日米軍の指揮・統制枠組みの見直しの合意で、米軍の影響力が過度に強まりつつある。また岸田首相が政治資金問題で自らの責任を棚上げし他者を裁く姿勢は、政治不信を招いている。

私たちは、如何なる事由があろうとも憲法9条を守らなければならない。その決意は行動してこそ体現される。今年も憲法大集会とオール埼玉総行動が開催される。私たちの生活を守り、未来を創りだす事は、自らの実践でしかできない。24春闘をたたかい抜いた組織力と団結力で、平和に暮らせる社会、安心して働ける職場を創りだそう！

24春闘で過去最大のベア格差が発生！ 私たちの賃金は本当にこのままで良いのか？ 鉄道の安全を第一に据えた人事・賃金制度の実現に向けてたたかいを創り出そう!!

JR 東労組　職場討議資料（2024. 4）

JR東労組は鉄道の安全を守るため、過度な競争を職場に持ち込む格差賃金や成果主義型人事・賃金制度の導入に反対です!

JR 東労組は、「新たな施策に対する5本柱」で「年功賃金の廃止反対！・手当・定昇カットなどの生活賃金の減額反対！・変なる成果主義型への変更を許さ!たたかおう！」を掲げています。しかし、JR 東日本による 24 春闘での「格差ベア回答」や「人事・賃金制度の見直し」に言及する経営姿勢を見ると新たな人事・賃金制度の見直しが検討されていると見なければならずません。JR 東労組は、本討議資料で鉄道の安全を第一に据えた人事・賃金制度に対する考えを明らかにします。職場議論で活用して頂き、経営姿勢に立ち向かう組織の強化・拡大を成し遂げていきましょう！

Ⅰ　JR東日本「合理的な差は格差ではない」

JR東労組は、「所定昇給額と同一の額4,000 円」という 24 春闘のベア回答では、主幹職 A と係職1等級間で、2,600 円の格差ができることから、一律 12,000 円のベアを求めて申 19 号緊急再申し入れを行いました。

申 19 号交渉でJR東労組は、「定期昇給に職責による差はあるが、さらにベアにまで格差をつける必要があるのか、コロナ禍を乗り超えた奮闘と努力はどの職責も変わらず行ってきた。格差がつくことに対して明確に反対である」と主張したところ、会社は「職責は重要な要素ということから鑑みて合理的な差である。格差ではない」との考えを改めて示しました。

24 春闘のベア回答で発生する 2,600 円の差額は誰がどう見ても「格差」であることは明確です。しかし、それを格差ではなくと規定する経営姿勢に危機感を持っています。

① ベアの重要な要素であればどんな理由も合理的な差になってしまう。
＊今後、ベアの重要な要素に「評価」が入れば、「評価」による差額は合理的な差となる。
② 合理的な差であることを根拠に職責等の要素によって、格差が拡大する可能性がある。
＊1 万円でも10万円の差でも、合理的な差となる。

JR東労組は、鉄道の安全はチームワークによって成り立つものであり、安全が損ちになるような、過度な競争を職場に持ち込む格差賃金や人事・賃金制度の導入に反対である立場からも、「一律定額ベア」を求めるべきと考えます。

Ⅱ　JR 東日本が言及した鉄道をベースにしてきた人事・賃金制度の見直し

2023 年 9 月に発表されたJR東日本グループレポートの中で、深澤社長（当時）はトップメッセージで、「とにかく何でもやってみようというムーブメントが社内に生まれました。今後、こうしたムーブメントに対応するため、さまざまな制度について見直しを図っていかなければなりません。これまで鉄道をベースにしてきた人事・賃金制度に加えて、働き方そのものも見直していく必要があります。」と述べました。

また、4 月に社長に就任した喜勢社長は「安全が、JR 東日本の経営のトッププライオリティ」と述べた上で、「現在の人事制度は現在の仕事を前提にしていますから、将来を見越して近いうちに抜本的な見直しを行います。」「社員の意欲をしっかりと受け止める制度にしなければなりません」と述べています。

JR 東労組は鉄道の安全を守るため、過度な競争を持ち込む格差賃金や成果主義型人事・賃金制度の導入に反対です！
本部討議資料を読み合わせ、全職場でたたかおう!

過去最大のベア格差に対する会社の認識 ⇒「合理的な差は格差ではない」

申19号24春闘再申し入れ交渉において東労組は「コロナ禍を乗り越えた奮闘と努力はどの職責も変わらず行った。格差がつく事に対して反対」と主張した所、会社は「職責は重要な要素という事から鑑みて**合理的な差である。格差ではない**」との考えを示した。
2600円のベア格差が発生することは明白だが、それを格差ではないと規定する経営姿勢であり、危機感を抱かざるを得ない。
ベアの重要な要素であればどんな理由も「合理的な差」になり、その要素によるベア格差は合理的な差となる。
また、合理的な差であることを理由に格差が拡大する恐れがある。

経営幹部が「鉄道をベースにしてきた人事・賃金制度の見直し」について言及している

深澤前社長は「グループレポート」の中で「鉄道をベースにしてきた人事・賃金制度に加えて、働き方そのものも見直していく必要がある」と述べ、喜勢社長は「**現在の人事制度は…将来を見越して近いうちに抜本的な見直しを行う**」「社員の意欲をしっかりと受け止める制度にしなければならない」と述べており、新たな人事・賃金制度の見直しが検討されていると見なければならない。

JR東労組大宮地本 第26回釣り大会（ヘラブナ）
日　時：2024年5月20日（月）
集合　4:45
受付　5:15～
場　所：椎の木湖（埼玉県羽生市）
参加費：3,000 円
競技方法：総重量にて競技

JR東労組大宮地本 第20回バスケットボール大会
日　時：2024年5月24日（金）
9:00～17:00
場　所：ブレックスアリーナ宇都宮
（宇都宮駅東口徒歩 20 分）
参加費：1人 500 円　弁当代 500 円
※大会終了後懇親会開催を予定しています

JR東労組大宮地本 第23回軟式野球大会
日　時：2024年5月29日（水）
※予備日の設定はありません
場　所：さいたま市荒川総合運動公園
参加費：1チーム 11,000 円
※詳細は5月8日の代表者会議で決定します

JR東労組大宮地本 第20回将棋大会
日　時：2024年6月8日（土）
12:30 受付　13:00 開始
場　所：大宮地本会議室
参加費：500 円
試合方法：それぞれリーグ戦

JR東労組大宮地本 第1回海釣り大会（真鯛）
日　時：2024年7月2日（火）～3日（水）
4:45集合・受付　5:15開始
場　所：陸奥湾（青森の釣り船　葵 aoi）
前泊　東横イン青森駅前
参加費：15,000 円（宿泊費・船代込み）

事務所移転のお知らせ
大宮地本は以下の場所に事務所を移転し、5月1日より新事務所で業務を行います。
今後とも変わらぬご愛顧をお願い致します。

カンテラ

沖縄の在日米軍は、沖縄県や周辺自治体がこの間一貫して訓練中止を求めている嘉手納基地でのパラシュート降下訓練を、4月19日に5か月連続で実施した。

そもそも米軍による降下訓練は、1996年の日米特別行動委員会（SACO）で伊江島補助飛行場において実施する事を合意したが、2007年に「嘉手納基地を例外的な場合に限って使用」すると追加合意した背景がある。今回、米軍は伊江島補助飛行場の滑走路の状態が悪いことを理由に、昨年12月19日に約3年半ぶりに、嘉手納基地で「例外的措置」として降下訓練を実施した。

過去の戦争で多くの犠牲を強いられ、現在も多くの問題を抱える沖縄において、県や住民の要請を簡単に無視する米軍や日本政府の姿勢に強い怒りを感じる。

この時代を「戦前」と呼ばせないため、今を生きる私たちに何が出来るのか。これからの時代をつくる子どもたちに今を生きる自分たちは何を手渡すのか。今こそ真剣に「平和とは何か？」を考える時に来ていると思う。（H・T）

無料 法律相談
□ 5月23日(火)
□13:30～15:00
場所：大宮地本会議室
相談日の5日前までに、地本又は各支部へ連絡して下さい。
お気軽に相談を！

大宮地本レールクラブ 運転会を開催！

2024年3月23日

サークル活動で仲間と交流し、さらなる組織強化を勝ち取ろう！

3月期退職者激励会
大変お疲れさまでした（敬称略）
根岸　智昭
さいたま運転区

2024年3月22日　大宮地本会議室